

WATERDROP WIPER FITTED WITH TANK

Patent Number: JP8098790
Publication date: 1996-04-16
Inventor(s): YAMASHITA SHUSUKE
Applicant(s): AZUMA KOGYO KK
Requested Patent: ☐ JP8098790
Application Number: JP19940259224 19940929
Priority Number(s):
IPC Classification: A47L1/06
EC Classification:
Equivalents:

Abstract

PURPOSE: To provide a waterdrop wiper having a simple structure, easy to operate and capable of easily scraping up even the waterdrops bonded not only to the upper part of an objective region but also to the lower part thereof without spilling the water in a grip handle also used as a water tank.

CONSTITUTION: This waterdrop wiper is constituted by an almost dust pan- shaped wiper main body 3 having a waterdrop scraping-up rubber spatula 5 provided to the front end edge part of the bottom part thereof and the grip handle 2 connected to the rear end part 3b of the wiper main body through a water guide pipe 4 and also used as a water tank for storing scraped-up waterdrops and, the rubber spatula 5 is inclined with respect to the grip handle 2 used as the water tank within the plane containing the bottom surface 3c of the wiper main body 3.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-98790

(43)公開日 平成8年(1996)4月16日

(51)IntCl.⁶

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

A 4 7 L 1/06

審査請求 未請求 請求項の数1 F D (全 3 頁)

(21)出願番号 特願平6-259224

(22)出願日 平成6年(1994)9月29日

(71)出願人 000101363

アズマ工業株式会社

静岡県浜松市野口町626

(72)発明者 山 下 修 右

浜松市野口町626 アズマ工業株式会社内

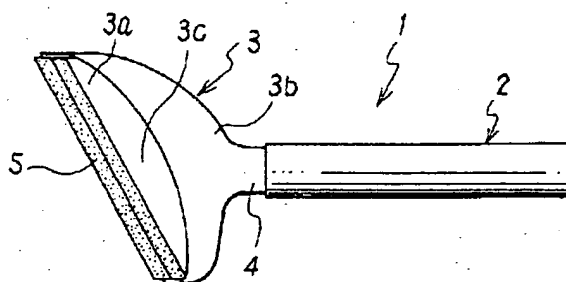
(74)代理人 弁理士 林 宏 (外1名)

(54)【発明の名称】 タンク付き水滴ワイパー

(57)【要約】

【目的】 構造が簡単、且つ、操作が容易で対象部位の上部ばかりでなく、下部に付着した水滴をも、貯水タンク兼用の握柄内の水をこぼさずに容易に掻き集めることができる水滴ワイパーを得ること。

【構成】 底面前端縁部に水滴を掻き集めるためのゴムヘラ5を有した略ちりとり型のワイパー本体3と、該ワイパー本体の後端部3bに導水管4を介して連設され、掻き集めた水滴を貯えるための貯水タンク兼用の握柄2とからなり、上記ゴムヘラ5はワイパー本体3の底面3cを含む平面内において上記貯水タンク兼用の握柄2に対して傾斜させる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】底面前端縁部に水滴を掻き集めるためのゴムヘラを有した略ちりとり型のワイパー本体と、該ワイパー本体に取付けられ、ワイパー本体で掻き集めた水滴を溜めるための貯水タンクを兼ねる握柄とを備えた水滴ワイパーにおいて、

上記ゴムヘラを上記ワイパー本体の底面を含む平面内において上記貯水タンク兼用の握柄に対して傾斜させて設けた、ことを特徴とするタンク付き水滴ワイパー。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、ガラス戸や窓等に着した水滴を集めるための作業用器具として好適なタンク付き水滴ワイパーに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、この種のワイパーには、ちりとり型のワイパー本体の後端部に棒状の握柄を取付けてT字状を呈するように形成され、該握柄の中を貯水タンクとして、ワイパー本体で掻き集めた水滴を受け入れるものがある。しかし、これでは、ガラス戸や窓等の直下方に床面等がある場合、これらガラス戸や窓等の下部に着した水滴を掻き集める際に床面が操作の邪魔になって思うように作業が出来ず、無理に水滴を掻き集めようとすると、貯水タンク内の水がこぼれるという不都合を生じていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】本発明の技術的課題は、構造が簡単で、ガラス戸や窓等の上部ばかりでなく、下部に着した水滴をも、貯水タンク内の水をこぼすことなく容易に掻き集めることができる水滴ワイパーを提供することにある。

【0004】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するため、本発明によれば、底面前端縁部に水滴を掻き集めるためのゴムヘラを有した略ちりとり型のワイパー本体と、該ワイパー本体に取付けられ、ワイパー本体で掻き集めた水滴を溜めるための貯水タンクを兼ねる握柄とを備えた水滴ワイパーにおいて、上記ゴムヘラを上記ワイパー本体の底面を含む平面内において上記貯水タンク兼用の握柄に対して傾斜させて設けたタンク付き水滴ワイパーが提供される。

【0005】

【作用】上記水滴ワイパーは、従来の水滴ワイパーと同様にしてガラス面等の上部に着した水滴を掻き集めるのに用い得るのはもちろんであるが、ガラス戸や窓等の下部で床面や窓枠に近い部分の水滴をすくい取る場合にも、容易に操作することができる。即ち、ゴムヘラを斜上方に向け、貯水タンク兼用の握柄を床面等に対して傾斜した状態に保持して該握柄を持ち、この状態で、該ゴムヘラをガラス面等の対象部位に押し付けて、該ガラス

面等の表面を横に押すようにして摺動させる。上記対象部位に付着している水滴は、摺動するゴムヘラにすくい上げられ、ワイパー本体の底面に沿って貯水タンク兼用の握柄内に流入し、これに貯えられる。この際、上記貯水タンク兼用の握柄は、ガラス面等の対象部位が低位の場合であっても容易にゴムヘラより下に位置させ、床面等に当接させることなく移動できる。

【0006】従って、複雑な構造にすることなく、ガラス戸や窓等の上部ばかりでなく、下部に着した水滴をも、貯水タンク兼用の握柄内の水をこぼさずに容易に掻き集めることが可能になる。

【0007】

【実施例】図面は、本発明の実施例を示し、図1並びに図2はタンク付き水滴ワイパーの構成を、図3は上記タンク付き水滴ワイパーの使用状態を示している。図1並びに図2に示すようにタンク付き水滴ワイパー1は、略ちりとり型のワイパー本体3と、該ワイパー本体3で掻き集めた水滴を溜めるための貯水タンクを兼ねる貯水タンク兼用の握柄2とで構成されている。

【0008】上記ワイパー本体3は、前端部3aが開口し、後端部3bが箱型に閉じた略ちりとり型をなし、その後端部3bは、中央部分を後方に突出して導水管4を形成させている。また、該導水管4の端部は、一端が閉じた筒型の上記貯水タンク兼用の握柄2に着脱自在に嵌着されている。

【0009】なお、上記貯水タンク兼用の握柄は、図4に示すように該貯水タンク兼用の握柄12の下端部に筒型の把持部12aを、中間部に該把持部12aと比べて幅広で同じ厚さの平らな膨大部12bを形設けたものであっても良い。

【0010】上記ワイパー本体3の底面3cの前端縁部には、前端部がテーパ状になった、水滴を掻き集めるためのゴムヘラ5が配設されている。該ゴムヘラ5は、上記ワイパー本体3の底面3cを含む平面内において上記貯水タンク兼用の握柄2に対して傾斜して設けられている。即ち、該貯水タンク兼用の握柄2の長手方向を床面等に対して垂直に保持した場合、上記ゴムヘラ5は、該床面等に対して傾斜した状態に保持されることになる。

【0011】上記構成を有する水滴ワイパーの使用状態を図3に示す。上記タンク付き水滴ワイパー1においては、上記ゴムヘラ5を斜上方に向け、貯水タンク兼用の握柄2を床面等に対して傾斜させた状態に保持して該握柄2を持ち、この状態で、ゴムヘラ5をガラス戸や窓等の対象部位に押し付けて、該ガラス面等の表面を横に滑らせて押すようにして摺動させる。これにより対象部位に着している水滴は、上記摺動するゴムヘラ5にすくい上げられる。上記ワイパー本体3の後端部3bは漏斗状になっているので、すくい上げられた水滴は、ワイパー本体3の底面3cに沿って導水管4を通して貯水タンク兼用の握柄2内に流入し、これに貯えられる。

3

【0012】この際、上記貯水タンク兼用の握柄2は、ガラス面等の対象部位が低位の場合であっても容易にゴムヘラ5より下に位置させ、床面等に当接させることなく移動できる。

【0013】作業が終了するか、または上記貯水タンク兼用の握柄2が一杯になり、該貯水タンク兼用の握柄2内に貯えられた水滴を捨てる際には、ワイパー本体3から該握柄2を取り外して内部の水をバケツ等に排水する。握柄2を取り外さなくても、握柄2を可撓性のある合成樹脂により形成して強く押し潰すことにより内部の水を押し出すこともできる。

【0014】

【発明の効果】以上に説明したように、本発明によれば、複雑な構造にすることなく、ガラス戸や窓等の上部ばかりでなく、床面や窓枠に近い下部に付着した水滴を

4

も、貯水タンク兼用の握柄内の水をこぼすことなく容易に掻き集めると共にワイパーを容易に操作することが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施例の平面図である。

【図2】同実施例の側面図である。

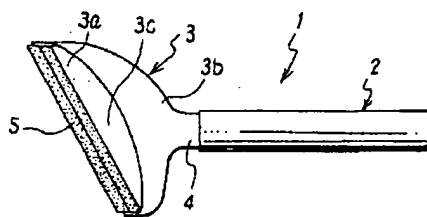
【図3】本発明の使用状態の図である。

【図4】本発明の貯水タンク兼用の握柄の他の実施例の断面図である。

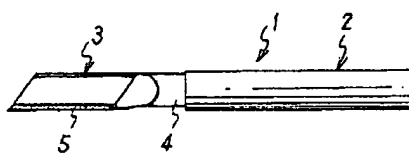
【符号の説明】

- 1 タンク付き水滴ワイパー
- 2 貯水タンク兼用の握柄
- 3 ワイパー本体
- 3c 底面
- 5 ゴムヘラ

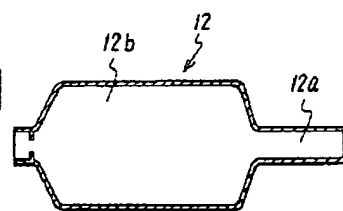
【図1】



【図2】



【図4】



【図3】

